【地区別状況】

|  |  |
| --- | --- |
| ①地区名 | 泉北高速泉ヶ丘駅周辺地区 |
| ②基本構想策定時期 | 平成14年度（2002年度） |
| ③地区選定理由 | （１）交通バリアフリー基本構想策定にあたっての第１次抽出の視点  ①通勤・通学の利用が多い、あるいは商業施設の集積が高い地区で、バリアフリー化を今後とも進める必要がある地区  ②高齢化の進展、障害者の利用が多いと考えられ、その移動ニーズヘの対応が急務である地区  ③主要な公共公益施設が立地または計画されている地区  ④駅の改良・新設および駅周辺地区の開発・整備が計画されている地区  （２）平成14年度基本構想策定地区の絞込み理由  ○主要な福祉施設等が分布する地区 |
| ④基礎情報 | 【1日平均乗降客数】  （平成11年度）54,304人⇒（平成30年度）40,810人  【地区特性（策定当時）】  ・本地区は、泉北ニュータウンの拠点的地区として、商業・アミューズメント・文化施設等の立地が進んでいる。  ・大規模商業店舗や商店街に加え、大型児童館「ビッグバン」「国連・身体障害者の十年」記念施設である国際障害者交流センター「ビッグアイ」が開館するなど、広域からの集客力が高まっている。  ・堺市の中でも、「人にやさしい街づくり事業」として整備されるなど、他地区に先がけてバリアフリー化に取り組んでいる地区である。  ・本地区は、鉄道と周辺地域へのノヾスの交通結節点としての機能を有している。  【令和元年度の特定道路指定延長の状況】  対象となる経路なし |
| ⑤基本構想策定当時の課題 | ○鉄道駅  ・エレベーターなどバリアフリー化の施設整備が一定行われている。  ・今後の施設の更新に伴い、より利便性の高い施設への更新が課題。  ○駅前広場  ・西側の駅前広場におけるバス関連施設等の改良。  ・駅前広場を含む駅の周辺地区において、主要施設の案内・誘導サインの設置・改良が必要。  ○道路  ・地区内の歩道は、住宅地の開発に伴い一定整備がされているが、一部の場所での段差・勾配等の改良が必要。  O信号・交差点  ・今後、道路整備にあわせた音響信号機等の設置。改良など視覚障害者の横断の安全性の確保の検討。 |
| ⑥特記事項・備考 | ・平成27（2015）年　高倉台西小学校閉校（跡地利用について、平成31年に学校法人みどり学園と基本協定締結）  ・平成28（2016）年　泉北考古資料館閉鎖  ・平成30（2018）年　駅設備更新  ・令和元（2019）年　泉ヶ丘プール閉鎖  ・南保健センターについて、南区役所内に移転  ・当該地区内には、「堺市緑の基本計画（平成30年3月改定）」に位置付けられた15公園のうち、田園公園、大蓮池公園が含まれている。 |